

各地で行われたイベント&話題を紹介するコーナーです。

消防団屯所機能を備えた多目的倉庫が完成

「高野方面隊新市分団屯所」落成式

4月15日、高野町新市に完成した「高野地区多目的倉庫」で、庄原市消防団高野方面隊新市分団屯所落成式が開催されました。

平成18年豪雪で、消防団の活動拠点だった高野町上地区倉庫が倒壊したことによって、この度、新たに消防ポンプ積載車格納庫と団員の詰所機能を有する、高野地区多目的倉庫が完成しました。この倉庫は、総事業費36,813千円、延べ床面積255.12㎡の鉄骨構造で、ポンプ積載車3台の格納スペース、詰所として和室15畳に水洗トイレ設備のほか、資材庫を備えています。

落成式で正木慎一郎分団長は「豪雪で倒壊した詰所が、このような立派な多目的倉庫として生まれ変わり、団員と共に喜びを分かち合いたい。今後も団員と心をつなげて市民の生命と財産を守る消防防災業務に邁進したい」とお礼を述べました。



完成した高野地区多目的倉庫

人権の花活動に感謝状

比和小学校で贈呈式

比和小学校の人権の花活動に対する感謝状贈呈式が4月24日、比和小学校体育館で行われました。

これは、比和小学校児童が人権の花活動の趣旨をよく理解し、咲いた花を児童の手紙とともに公共施設などに送り届ける活動を通じて人権を大切にする取り組みが評価されたものです。

人権の花活動は、児童たちが協力して花を栽培・育成することにより、いたわりや思いやりの気持ちを育み、命の大切さを学んでもらうことを目的としています。

贈呈式では、人権イメージキャラクターの「まもるくん」と「あゆみちゃん」も登場し、児童と楽しく交流しながら、人権に対する理解を深めました。

比和小学校の校庭では、児童たちが大切に育てたチューリップなど「人権の花」が見事に咲き誇っていました。



児童代表へ感謝状を贈呈



全員で記念撮影

新緑の公園内を力走

備北丘陵公園マラソン大会



多くのランナーが市外からエントリー

新緑のさわやかな風とともに駆け抜ける第6回国営備北丘陵公園マラソンが5月13日、公園内で行われました。

子どもから高齢者まで約1,400人がエントリーし、2キロから20キロの4コースに分かれ、国兼池の湖畔やポピーの花畑が広がる園内を力走しました。

今年からインターネットでの受け付けを始め、参加者が約300人増加。主催者は「5月のさわやかな気候と美しい園内が走りやすいと評判で、千葉県や大分県など遠方からのリピーターが多くなっている。子どもから高齢者まで気軽に参加できる大会として、今後さらに人気が高まるのでは」と喜んでいました。

新しいグラウンドの感触を楽しむ

上野総合公園竣工記念行事

陸上競技場を中心とする上野総合公園第1期整備事業の竣工を祝う記念行事が4月21日に開催され、延べ約400人の子どもたちが陸上やサッカーを楽しみました。

午前中の「トップランナーと走ろう」では、中国電力陸上部の油谷繁選手や尾方剛選手らトップランナー5人が子どもたちを指導。また、トップランナーと学生で編成した2チームと小中学生混合の8チームがリレーで対決しました。

午後は、「サッカーで楽しく遊ぼう」が開かれ、サンフレッチェ広島ジュニアコーチらと一緒にミニゲームなどを行い、天然芝のグラウンドの感触を楽しんでいました。



コーチとミニゲームを楽しむ子どもたち

むかし懐かしい「いろり」を再現

東城の民具展

4月19日から26日まで、東城支所ホールで、「東城の民具展」が開催されました。明治・大正時代の生活の中心であった「いろり」を再現し、当時使用していた台所用品などを展示しました。



鉄鉄を使用し鋳物師が作った鉄瓶や五徳（流し込み）茶釜・鉄鍋、鍛冶師が作った刃物や農具・鉄器など、鉄で栄えた東城ならではの貴重な民具を展示。会場は昔懐かしい雰囲気になりました。

町の活性化を考える総合学習の一環として訪れた東城中学校の1年生は、庄原市文化協会東城支部の近藤芳弘さんから民具の説明を受け、「東城には貴重な民具がたくさんあり、鉄とともに発展したことが分かった」と話していました。



東城中1年生が見学

観光シーズンが幕開け

帝釈峡湖水開き

「第40回帝釈峡湖水開き」が4月29日、神龍湖畔で行われ、朝早くから多くの観光客で賑わいました。

会場となった「トレイルセンターしんりゅう湖」では、観光客や関係者の安全を祈願する神事が行われ、今シーズンの無事故を祈願しました。また、地元の鬼神太鼓の演奏や踊り子隊の舞、福餅まきが行われ、大勢の観光客から拍手を浴びていました。

神龍湖では、青葉の芽吹き始めた石灰岩の谷間から龍をかたどった遊覧船が煙を吐きながら登場。4年ぶりに湖上に吊るされた大くす玉が割れ、紙吹雪が舞うと、観光客からは一斉に歓声があがりました。



湖水開きのシンボルが復活



福餅まき

総領診療所に永井先生赴任



健康診断中の永井先生

4月から国民健康保険総領診療所に、永井道明先生が赴任しました。

先日は、学校医として総領小学校で健康診断を行うなど、総領地域の医療を支えています。

永井先生は「地元の皆さんに愛していただけよう一生懸命頑張りたい。体で気になることがあれば、気軽に診療所を訪ねてほしい」と話していました。

熊野の特産品を販売



福餅まき

熊野神社の春の大祭にあわせて、自治振興区「神話の里熊野むらづくり推進協議会」が4月26日、自らが経営するイザナミ茶屋前で、特産品を販売し、多くの人で賑わいました。

西城町熊野地区で栽培している「イザナミ米」（古代から食されているもち米）を使った餅つきやゴギの塩焼きなど、観光客は地元ならではの味を楽しんでいました。

鮎の里まつり



釣り堀は大盛況！

「鮎の里まつり」が5月3日から5日の3日間、鮎の里公園で開催されました。

会場では、ヤマメやマス釣り堀を開放し、家族連れなど多くの人々が釣りを楽しみました。また、焼肉コーナーでは、口和特産の牛肉を味わうなど、ゴールデンウィークの新たなレジャースポットとして賑わいました。

三河内の山菜料理に行列

里山の春を食う会



山菜の天ぶらを手にする客

農村の山菜料理が思いきり味わえる「里山の春を食う会」が5月9日、庄原市街地の楽笑座で行われました。

比和の三河内地域振興会のメンバーが、地域で採れた山菜の天ぶらや白和え、たけのご飯など32品目を作りました。

1人500円で食べ放題と割安感もあり、オープンと同時にできた行列が絶えないほど賑わ

いました。振興会の青木澄子さんは「山菜は2日前から採りに行き、下ごしらえをして、今日は4時に起きて準備をした。たくさんの人に来てもらってうれしい。この経験を地元で開催するイベントに活かしていきたい」と話していました。

森の大切さを体感

釜峰山で森林教室

口北小学校（児童39人）が4月27日、釜峰山へ1年生歓迎遠足に行き、広島北部森林管理署などが開催した「ふれあいの森・森林教室」に参加しました。

子どもたちは、紙芝居を見たり、庄原の木々からできたコルクに触れたりして、生活に密着した森林の役割を学びました。午後からは、松ぼっくりや木の枝など森にある材料を使い、木工細工を楽しみました。

また、森に関するクイズを解きながら登山をするなど、森や環境を大切にすることを育んでいました。



紙芝居で森林の役割を学ぶ

大自然を散策し山野草を学ぶ

吾妻山で四季めぐり“春編”

吾妻山四季めぐり“春編”が5月13日、吾妻山で開催されました。

絶好の散策日和に恵まれた中、10時過ぎに休暇村吾妻山を出発し、講師から山野草などの説明を受けながら、4時間余りをかけてゆっくりと吾妻山を散策しました。

吾妻山には、貴重な山野草である「ショウジョウバカマ」や「ウマシノアシガタ」などが自生しており、参加者は「高級楊枝の材料となるクロモジの説明が印象的だった」「貴重な山野草に触れる機会ができて良かった」と話していました。

吾妻山の四季を楽しむイベントは、季節ごとに行われており、次回は8月5日に“夏編”が開催される予定です。



吾妻山の頂上で景色を楽しむ参加者

みんなで守ろう「火の用心」

幼年消防クラブが防火パレード

4月24日、西城保育所年長・年中園児「おひさま幼年消防クラブ」が、庄原消防署西城出張所、庄原市消防団西城方面隊と合同で、防火パレードをしました。

「火の用心」と染め抜いた、おそろいの法被を着た園児51人は、西城町商店街で「みんなで守ろう火の用心」と呼びかけ、沿道の住民や保護者は、「かわいいねえ」「がんばって」と声援をおくり、防火に対する意識を新たにしていました。また、園児たちは、高さ25mに伸びるはしご車のゴンドラに試乗しました。

「おひさま幼年消防クラブ」は、昭和62年（1987年）に結成し、毎年4月の林野火災防止強化月間にパレードをして、住民に「火の用心」を呼びかけています。

備北地区消防組合管内では、4月中旬に22件の火災が発生。庄原消防署西城出張所の吉森所長は、「春先は風が強く、火災が起きやすい。火の取り扱いには、充分注意してほしい」と話していました。



拍子木を打つ園児たち

元気と笑顔がいっぱい

しあわせ館まつり



来場者と一緒に健康体操

第8回「しあわせ館まつり」が4月22日、西城保健福祉総合センターしあわせ館で、「誰でもきんさい！笑顔になれる出会いのチャンス♥」をテーマに開催され、600人を超える人で賑わいました。

はっぴいメイトとひまわりの会の合同チームによる「座・ソーラン」で威勢よく始まり、歌や踊り、芝居の楽しいステージが繰り広げられました。

また、しあわせ館で活動している皆さんの絵手紙やちぎり絵、工芸などの作品展示のほか、手打ちのしあわせそばや焼きたてパンなどを販売。フィナーレは、公民館教室「歌声ひろば」の古川由紀さんのアコーディオン伴奏で、会場全体が一つになって歌いました。

来場者は、「楽しい趣向やステージでの感動、おいしい食べ物もあり、心が満足した一日でした」と話していました。